

手作り感あふれる

丸太椅子の販売

ACTIVE KUMIAI

ログクラフト事業協同組合



丸太椅子(写真1)

ログクラフト事業協同組合(斉藤友一理事長)は、3月23日(土)甲府市のアイメッセ山梨にて開催された中小企業組合まつりに出展した。

当組合は、ハンドカットやマシンカットのログハウスの建築及び公園等に設置される机や椅子等の製造を行っており、一般的に大型の建築物等を製造しているような印象があるが、組合まつりでは例年、小型の机や椅子等の販売を行っている。

今回の出展でも、一般的なホームセンター等では販売していない、丸太の形をそのまま生かした手作り感あふれる形状の椅子等を販売していたため、来場者の興味を引いていた。

これらの椅子等は、ログハウスを製造する過程において発生する余った木材等を利用して作成されているため、非常に安価で販売することが可能となっており、直径30cm、高さ40cm程の丸太椅子(写真1)が1,000円、長さ120cm程の横長椅子(写真2)が3,000円それぞれ販売されていた。

出展していた斉藤理事長は、「これらの椅子等は、来場者の興味を引いてはもらえるが、丸太椅子(写真1)でも10kg程の重さとなるため、持ち帰りが困難となっている。しかし、根強いファンも多くいるので、今後も販売を続けていきたい」と語っていた。

また、これらの椅子は、製造から数ヶ月経過すると乾燥により半分程度の重さになるため、タイミングによっては持ち帰りやすい重さになることもあるとのこと。ただし、乾燥するとひび割れ等も発生することもあがるが、それが木の面白い部分でもあると語っていた。



横長椅子(写真2)